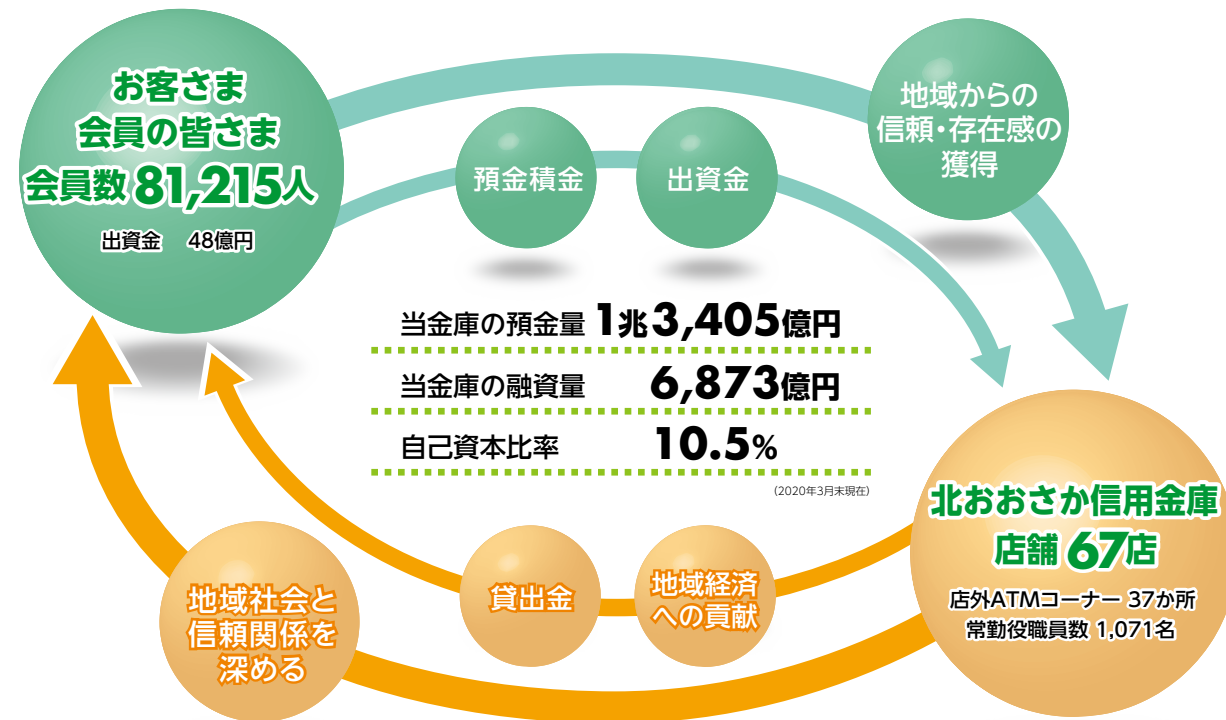


永年培ってきた信頼をベースに、 地域の皆さまの未来をひらくお手伝いをします。



金庫概要

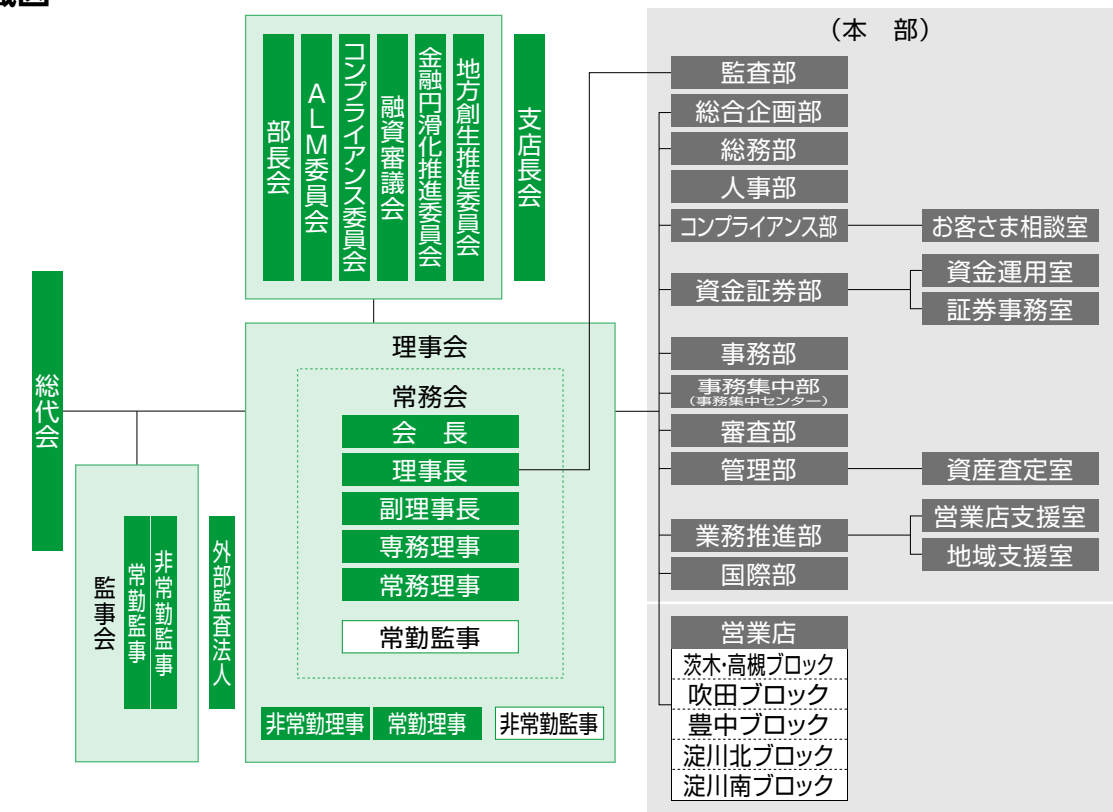
名称	北おおさか信用金庫
英語表記	The Kita Osaka Shinkin Bank
金融機関コード	1645
理事長	若槻 勲
本店所在地	〒567-8651 大阪府茨木市西駅前町9番32号
電話番号	072-623-4981
常勤従業員数	1,071名
店舗数	67店舗
出資金	48億円
預金	1兆3,405億円
貸出金	6,873億円

営業地域	大阪府 大阪市 茨木市 高槻市 吹田市 豊中市 箕面市 池田市 守口市 門真市 摂津市 寝屋川市 大東市 東大阪市 枚方市 三島郡 八尾市 四條畷市 交野市 豊能郡 堺市 松原市 兵庫県 尼崎市 伊丹市 川西市 西宮市 宝塚市 川辺郡 京都府 向日市 長岡京市 乙訓郡大山崎町
------	--

(常勤従業員数・店舗数・出資金・預金・貸出金の計数は2020年3月末現在)

組織体制について

◆組織図



役員一覧

(2020年6月24日現在)

理事長	若槻 勲	常勤	理事	塩田 聖彦
副理事長	若須 久保	常勤	理事	田保 全一
専務理事	小松 牧	常勤	理事	四辻 健一
専務理事	河本 正弘	常勤	監事	高木 正
常務理事	竹本 良昭	非常勤	監事	佐藤 芳武
常務理事	井上 道幸	非常勤	理事	加水 藤浩
常務理事	牛田 隆己	非常勤	理事	磯川 正
常勤	西山 公三			

※1 代表権を有する役員です。

※2 松本正弘、加藤芳哉、水野浩児は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。

※3 監事 磯川正明は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

目次

北おおさか信用金庫の概要	1	経営基盤	7	預金業務	19
組織体制について	2	内部管理体制について	7	サービス	19
役員一覧	2	総代会	9	お問い合わせ	20
「お客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)」に関する基本方針」に係る取組み状況	3	コンプライアンスとお客さま保護	11	主要取扱い手数料一覧	21
共通KPI	4	リスクマネジメント	13	店舗一覧	23
中小企業の経営支援、事業性評価及び地域活性化のための取組み状況	5	健全な経営	15	店外ATMコーナー	24
当金庫の金融仲介の取組み	6	業務・店舗のご案内	17	あゆみ	25
「経営者保証に関するガイドライン」への取組み	6	主要な事業内容	17	財務情報	26
		融資業務	18	2019年度 事業概況	26

単体情報		当金庫の自己資本の充実の状況等について		8.出資等エクスポージャーに関する事項	52
財務諸表	27	1.自己資本調達手段の概要	44	9.リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項	53
主要な事業に関する事項	32	2.自己資本の充実度に関する評価方法の概要	47	10.金利リスクに関する事項	53
預金に関する指標	34	3.信用リスクに関する項目	47	ディスクロージャー開示項目	54
貸出金等に関する指標	35	4.信用リスク削減手法に関するリスク管理の方針及び手続の概要	50		
有価証券に関する指標	36	5.派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関するリスク管理方針及び手続の概要	50		
財産の状況	37	6.証券化エクスポージャーに関する事項	51		
連結情報		7.オペレーショナル・リスクに関する項目	52		
金庫およびその子会社等に関する事項	39				

■「お客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)に関する基本方針」に係る取組み状況

「お客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)に関する基本方針」に係る取組み状況については以下のとおりです。

お客さまにとって最善の利益の追求

少額からの長期・積立・分散投資により、資産形成・運用のお手伝いをさせていただき、お客さまにとっての最善の利益を図っていきます。

◆投資信託における積立投資信託(定時定額取引)の販売割合

(単位:千円)

	2017年度	2018年度	2019年度
投資信託販売額	217,222	247,308	384,459
(内定時定額取引)	88,626	186,308	209,449
割合	41%	75%	54%

◆NISA(少額投資非課税制度)の利用状況

(単位:残高 千円)

一般NISA	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末	つみたてNISA	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末
口座数	112	117	122	口座数	163	335	370
残高	24,891	34,029	43,955	残高	466	33,380	68,685

お客さまにふさわしいサービスの提供

◆投資信託販売上位5銘柄

(2017年4月～2018年3月) (単位:販売額 千円) (2018年4月～2019年3月) (単位:販売額 千円) (2019年4月～2020年3月) (単位:販売額 千円)

ファンド名	販売額	構成比	申込 手数料	運用管理 費用 (信託報酬)	信託財産 留保額	ファンド名	販売額	構成比	申込 手数料	運用管理 費用 (信託報酬)	信託財産 留保額	ファンド名	販売額	構成比	申込 手数料	運用管理 費用 (信託報酬)	信託財産 留保額
しんさん インデックス ファンド 225	86,030	40%	—	0.864%	—	しんさん インデックス ファンド 225	76,470	31%	—	0.864%	—	しんさん インデックス ファンド 225	124,540	32%	—	0.880%	—
しんさん 国内債券 ファンド	33,920	16%	—	0.432%	0.05%	しんさん 国内債券 ファンド	51,860	21%	—	0.432%	0.05%	しんさん 国内債券 ファンド	64,190	17%	—	0.440%	0.05%
しんさん 好配当 利回り株 ファンド	20,550	9%	1.08%	1.080%	0.30%	しんさん ノーロード 公共債 ファンド	18,595	8%	0.54%	0.540%	0.05%	たわら ノーロード バランス (8資産均等型)	25,578	7%	—	0.154%	—
しんさん 公共債 ファンド	16,375	8%	0.54%	0.540%	0.05%	たわら ノーロード バランス (8資産均等型)	16,774	7%	—	0.238%	—	しんさん Jリート オープン (1年決算型)	23,320	6%	2.20%	1.023%	0.30%
しんさん Jリート オープン (毎月決算型)	15,656	7%	2.16%	1.026%	0.30%	しんさん 3資産 ファンド (毎月決算型)	15,340	6%	2.16%	1.026%	0.30%	しんさん Jリート オープン (毎月決算型)	22,190	6%	2.20%	1.045%	0.30%
その他	44,691	20%				その他	68,269	27%				その他	124,641	32%			
合 計	217,222	100%				合 計	247,308	100%				合 計	384,459	100%			

※2019年10月1日 消費税率変更(8%⇒10%)

お客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)に関する基本方針

2019年6月5日 北おおさか信用金庫

当金庫は、経営方針の一つである「お客さまの立場で考え、質の高い金融サービスを提供します」に基づき、お客さまの資産形成・運用における「お客さま本位」の取組みを実現するため「お客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)に関する基本方針」を制定しております。

この基本方針のもと、今後、取組状況等を定期的に公表するとともに見直しを行ってまいります。

1.お客さまにとって最善の利益の追求

- お客さまに対して誠実・公正に業務を行い、お客さまにとっての最善の利益を図るよう努めます。
- お客さまの取引経験・知識・資産状況および取引目的・ニーズに真摯に向き合い、最もふさわしい金融商品・サービスの提供を行い、お客さま満足度の向上に努めます。

2.利益相反の適切な管理

- 当金庫は、「利益相反管理方針」に基づき、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理し、もってお客さまの利益を保護するとともに、お客さまからの信頼向上を図ります。
- 金融商品の販売時には、手数料の多寡にかかわらず、お客さまのニーズに合った適切な金融商品を提供いたします。

3.手数料の明確化および重要情報の分かりやすい提供

- お客さまにご負担いただく手数料等について、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかをお客さまにご理解いただけるよう説明いたします。
- また、お客さまの取引経験や知識を考慮の上、誤解を招くことのないよう明確、平易にかつ誠実に重要情報を提供いたします。
- 契約後もアフターフォローを通じ、継続的に経済状況・市場動向等の重要な情報を適切に提供いたします。

4.お客さまにふさわしいサービスの提供

- 多様なニーズにお応えするため金融商品の特性やリスクを十分検討し、お客さまにふさわしい金融商品ラインナップの充実を図ります。
- ライフプランやニーズを把握し、コンサルティングを通じて、一人ひとりのお客さまにふさわしい金融商品・サービスの推奨・販売を行います。

5.お客さま本位の業務運営に向けた態勢整備

- 当金庫は、「お客さま本位」の取組みを実現するため、また金融商品知識やコンサルティング能力の向上を図るため、必要な役職員研修の充実に努めます。
- お客さま本位の業務運営を実現するため、適切な業績評価、ガバナンス体制の改善に努めます。

以 上

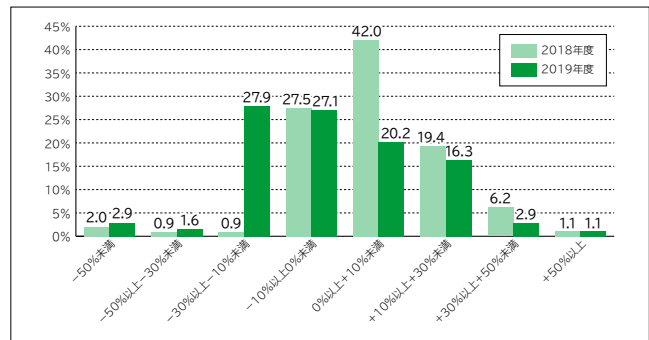
■ 共通KPI

当金庫におけるお客さまの運用成果指標(共通KPI)は、下記のとおりです。

1. 運用損益別顧客比率

当金庫にて投資信託を保有しているお客さまの運用損益状況を運用損益率区分ごとに表示しています。

運用損益率がプラス(0%以上)のお客さまは40.5%でした。



基準日:2020年3月末時点(2003年6月以降の数値をもとに算出)

運用損益:基準日時点の評価金額+累計受取分配金額(税引後)+

累計売却金額-累計買付金額(販売手数料(税込)を含む)

運用損益率:上記運用損益を基準日時点の評価額で除して算出

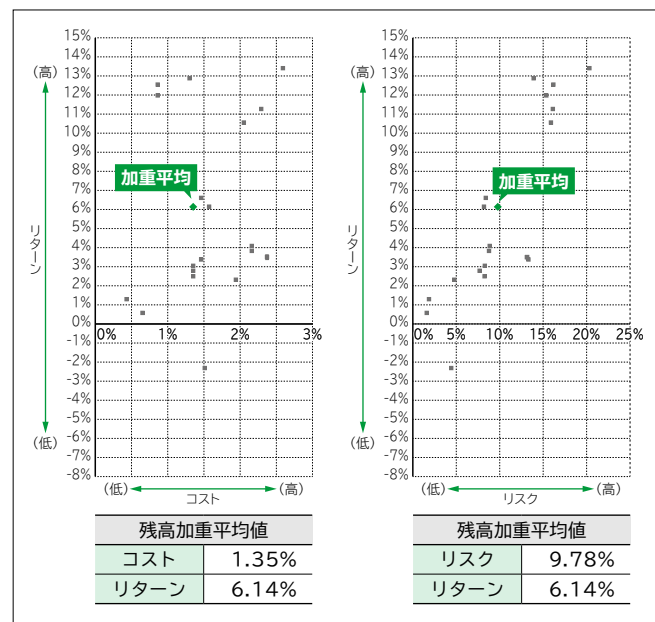
2. 投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

当金庫の投資信託の残高上位20銘柄について、コストやリスクに対するリターンを表示しています。

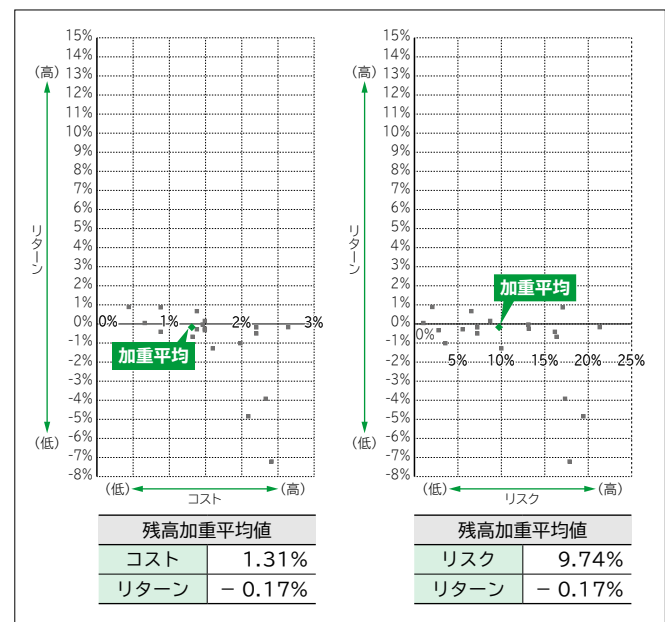
2019年3月末時点での残高上位20銘柄の平均コスト1.35%、平均リスク9.78%に対し、平均リターン6.14%となりました。

2020年3月末時点での残高上位20銘柄の平均コスト1.31%、平均リスク9.74%に対し、平均リターン▲0.17%となりました。

【2019年3月末】



【2020年3月末】



対象ファンド:投資信託の預かり残高上位20銘柄(設定後5年以上)

コ ス ト:(販売時手数料÷5)+信託報酬(年率)

リターン:過去5年間のトータルリターン(年率換算)

騰落率算出の際に用いる基準価格は分配金再投資後(税引前)の基準価格を使用

リ ス ク:過去5年間の月次リターンの標準偏差(年間算率)

騰落率算出の際に用いる基準価格は分配金再投資後(税引前)の基準価格を使用

※上記は将来における当金庫の取扱の投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。

当金庫の投資信託の預かり残高上位20銘柄は以下の通りです。(2020年3月末時点)

No.	銘柄名	No.	銘柄名
1	しんさん3資産ファンド(毎月決算型)	11	しんさん海外ソブリン債セレクション(欧米ソブリン債ポートフォリオ)
2	しんさんインデックスファンド225	12	クルーズコントロール
3	しんさん国内債券ファンド	13	しんさんJリートオープン(1年決算型)
4	しんさんJリートオープン(毎月決算型)	14	三井住友・グローバル・リート・オープン(3ヵ月決算型)
5	しんさん公共債ファンド	15	しんさんトビックスオープン
6	しんさんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	16	しんさん世界アロケーションファンド
7	ニッセイ/バトナム・毎月分配インカムオープン	17	しんさん海外ソブリン債セレクション(米国ソブリン債ポートフォリオ)
8	ニッセイ/バトナム・インカムオープン	18	三井住友・ニュー・チャイナ・ファンド
9	しんさん好配当利回り株ファンド	19	ダイワ・バリュース株・オープン
10	三井住友・グローバル・リート・オープン	20	しんさん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)

■ 中小企業の経営支援、事業性評価 及び 地域活性化のための取組み状況

1. 中小企業(小規模事業者を含む。以下同じ。)の経営支援に関する取組み方針

- ①事業内容の把握に努めること。
- ②経営者が抱える課題の把握に努めること。
- ③課題の解決策を経営者とともに考えること。
- ④解決策を折り込んだ計画について策定協力していくこと。
- ⑤外部専門家(認定支援機関、(株)大阪彩都総合研究所アドバイザーなど)や第三者機関(中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構など)を積極的に活用していくこと。

2. 担保・保証に過度に依存しない支援に対する取組み方針

- ①不動産担保だけにとらわれない支援を行っていくこと。
- ②経営者保証ガイドラインに則った支援を行っていくこと。
- ③財務データだけにとらわれない支援を行っていくこと。
- ④事業性評価(事業の内容や成長可能性に関する分析・評価)に基づく支援を行っていくこと。
- ⑤ABL(アセット・バースト・レンディング～売掛債権・商品在庫・機械設備などを担保とする融資)を積極的に実施していくこと。

3. 中小企業の経営支援に関する態勢整備(外部専門家・外部機関等の連携を含む。)及び主な取組み状況

(1) 創業・新規事業開拓の支援態勢、及び取組み実績

- ①当金庫独自のプロパー創業等支援商品「始めくん」、「北おおさかスタートローン」に加えて、日本政策金融公庫(国民生活事業)との協調融資専用商品「ゆめのつばさ」を取扱っています。
★「ゆめのつばさ」2019年度実績 66件・206百万円(2017年10月より創設)
- ②大阪信用保証協会、兵庫県信用保証協会の保証付き商品(制度融資)も取扱いしています。
★信用保証協会の保証付き創業支援融資 2019年度実績 26件・127百万円
- ③産業競争力強化法に基づく、地元市町村の「特定創業支援事業」に参画するなど、地域に根付いた創業支援ネットワークを通じて、創業の活性化をサポートしています。

(2) 成長段階における支援態勢、及び取組み実績

- ①信金中央金庫と信金キャピタル(株)が共同出資する中小企業向け創業・育成&成長支援ファンド「しんきんの翼」を通じて、資本または資本金性資金の供給をサポートしています。
★2019年度実績 普通株式による出資実行 1件・51百万円
- ②「ものづくり・商業・サービス支援補助金」など、補助金・助成金などの活用をサポートしています。
★「平成30年度補正 ものづくり補助金」採択企業 33先(当金庫が「事業計画書の確認書」を発行)
- ③大阪府が設置した「大阪府プロフェッショナル人材戦略拠点」(エル・おおさか本館3階)などと連携し、アドバイザーによる無料相談、適切な人材紹介会社の案内、セミナー開催協力など、成長・事業承継段階などにおける外部からの「プロ人材」採用をサポートしています。
- ④大阪府「MOBIO知財サポートチーム」などによる無料相談、特許庁「知財ビジネス評価書」、近畿経済産業局「知財ビジネスマッチング」など、知的財産権を経営に活かすサポートも積極的に行っています。
★2019年度実績:大阪発明協会「知財総合支援窓口」相談3先、特許庁「知財ビジネス提案書」発行1先

4. 地域の活性化に関する取組み状況

(1) 以下のプラットフォームに参画し、中小企業支援施策(「ミラサポ」専門家派遣など)や地域金融の活性化について連携、情報交換等を行っています。

- ①北摂地域中小企業支援プラットフォーム(代表機関:豊中商工会議所)…「大阪府よろず支援拠点」を含む
- ②大阪市域支援専門家プラットフォーム(代表機関:大阪商工会議所)

(3) 経営改善・事業再生における支援態勢、及び取組み実績

- ①中小企業再生支援協議会と密接に連携し、経営改善・事業再生支援を積極的に実施しています。
★2019年度実績:新規持込1先
「経営者保証に関するガイドライン」に沿った保証債務整理についても、適切に対応いたします。
また、条件変更からの卒業(エグジット)支援につきましても、積極的に対応いたします。
資金繰り面を中心とした「特例リスクスケジュール」支援につきましても、お気軽にご相談ください。
- ②認定経営革新等支援機関による「経営改善計画策定支援事業(専門家費用の3分の2を補助)」を積極的にお勧めし、専門家と連携した経営改善等の実践をサポートしています。
★「経営改善計画策定支援事業」2019年度実績:持込(当金庫メイン) 6先(累計90先)

(4) 事業承継、後継者問題などへの支援態勢

- ①親族内承継や従業員承継、後継者不在の場合のM&A支援まで、大阪府事業引継ぎ支援センター(大阪商工会議所内)を含む「大阪府事業承継ネットワーク」などとも連携し、幅広くサポートしています。
- ②信金キャピタル(株)などと連携し、全国的なネットワークを活かした事業承継(M&A)支援もサポートしています。
- ③後継者の方向けに「経営者大学」や「後継者育成セミナー(1日コース)」をご用意し、経営の基本から、体系的に幅広い知識を学べるとともに、人脈形成にもお役に立ていただけます。

(2) TKC近畿大阪会と「中堅・中小企業の持続的成長支援に関する覚書」を締結し、相互の協力関係を強化して、地域社会の発展に寄与することを目指して活動しています。

(3) 「きたしん うまいもん市」、「きたしんビジネスマッチングフェア2019with大阪大学」の開催など、ビジネスマッチングを通じた地域経済の活性化を推進しています。

■ 当金庫の金融仲介の取組み

2016年9月、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に把握できる多様な指標として、「金融仲介機能のベンチマーク」が金融庁より公表されています。当金庫はベンチマークの活用を通じて、金融仲介機能の向上に努めてまいります。

1. 当金庫がメインバンク(融資残高1位)として取引を行っている企業のうち、経営指標(売上・営業利益率)の改善や就業者数の増加が見られた先数、及び同先に対する融資額の推移

当金庫では、大阪北部を地盤とする金融機関の中では最大級のネットワークを活かし、地元企業のみならずまにしっかりと寄り添う「顧客基盤の拡充」を目指してまいります。

	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末
メイン先数(グループベース)	6,257社	6,750社	6,627社
メイン先の融資残高	3,196億円	3,271億円	3,273億円
経営指標が改善した先数※	3,960社	4,246社	4,244社

★「経営指標の改善」とは、売上・営業利益率のいずれかが改善した状況と定義しています。

なお、経営指標が改善した先(※2020年3月末現在)4,244社について、融資残高の推移は次のとおりです。

	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末
経営指標が改善した先(※2020年3月末現在)の融資残高の推移	2,258億円	2,341億円	2,399億円

★上記「融資残高の推移」は「2020年3月末現在の経営指標が改善した先※」4,244社に対する計数であり、2018年及び2019年のディスクロージャーにて開示した計数とは異なります。

2. ライフステージ別の与信先数(単体ベース)、及び融資額

当金庫では、企業のライフステージに応じた支援施策を充実させ、様々な経営課題の解決を通じて、中長期的な視点にて「企業価値の向上」をサポートしてまいります。

	全与信先					
		創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	14,419社	1,149社	1,463社	9,815社	627社	1,365社
2020年3月末の融資残高	5,576億円	182億円	716億円	3,897億円	211億円	570億円

★「ライフステージ」は、
過去5期の売上高などにより、
次のとおり区分しています。
●創業期:創業、第二創業から5年まで
●安定期:売上高平均で直近2期が過去5期の80%以上～120%以下
●低迷期:売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満
●成長期:売上高平均で直近2期が直近5期の120%超
●再生期:貸付条件の変更又は延滞がある期間

3. 当金庫が関与した創業支援の先数、及び創業支援専用商品による融資実行額

当金庫では、創業にチャレンジする事業者様のご融資等相談業務に積極的に取組み、金融面、及び本業面での支援を通じて、地域経済の活性化を図ってまいります。2018年4月より「創業祝金」1社5万円を贈呈する取組みを開始いたしました。

	先数	融資実行額
創業支援専用商品による、2019年度の創業支援先数、及び融資実行額	101社	370百万円

★「創業支援専用」融資商品は、「北おおさかスタートローン」、「始めくん」、日本政策金融公庫との協調融資専用商品「ゆめのつばさ」、信用保証協会の創業向け制度融資を集計しています。

★「創業祝金」は、2018年4月以降に当金庫で創業支援融資(100万円以上)を利用し、創業計画書を提出いただいた方を半期毎に確定し、初回のみ贈呈いたします。(贈呈式にご参加いただける方に、お渡ししております)

■ 「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

	2019年度
新規に無保証で融資した件数	1,919件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合(件数ベース)	7.76%
保証契約を解除した件数	34件
「経営者保証に関するガイドライン」に基づく保証債務整理の成立件数(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)	1件